

産業用小型プロジェクター (LH-200)

流通
限定商品



産業用途での活用を想定したプロジェクター。
通路や作業スペースの邪魔になりにくい小型タイプ。
防塵構造や冷却ファン高回転機能により耐環境性がアップ。
制御用端子を介してPCとの通信ができ、電源や投映のON/OFF
などの本体制御が可能。これにより各種センサーや既存設備と
連動した投映を実現。

おすすめ 3 つのポイント

小型で明るい軽量タイプ

- 明るさ2000lm A5サイズ 約1.0kg
- レーザー&LEDハイブリッドの長寿命光源(約20,000時間)

産業用途に特化したハード

- オフィスモデルより広い気温帯(0°~40°)での動作に対応
- 高気温に対応するため冷却ファンの高回転モードを搭載
- エアフィルターを使用しない独自の防塵設計

便利な機能を搭載

- ホストコンピューターとの通信が可能な制御用端子を搭載
- ダイレクトパワーオン機能で電源一括管理に対応

法人限定 カシオプロジェクター テスト機貸出サービス

法人団体に所属しており、自社業務への導入をご検討いただいている方を対象に、
使用環境での明るさ確認や既存設備・ソフトとの連携確認などの製品評価のため、
カシオプロジェクターを無料でお貸出するサービスを行なっております。

本サービスでは原則「1機種1台・2週間」のお貸出しとなります

テスト機のお申し込み・導入に関するお問い合わせはこちら
<https://casio.link/49XvcHK>



カシオ計算機株式会社

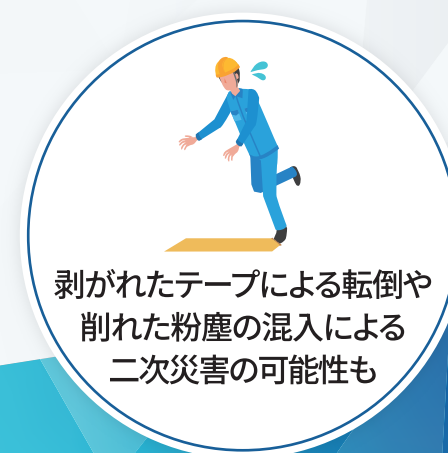
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
<https://casio.com/jp/>

CASIO

プロジェクションAR

活用方法

産業領域での注意喚起で多く活用されています



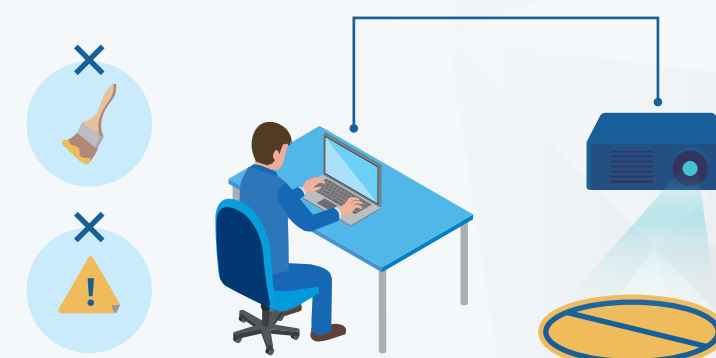
プロジェクションARで解決!

POINT
1

警告サインを
必要な時だけ映すので
注目を引き、見落としがなくなる

POINT
2

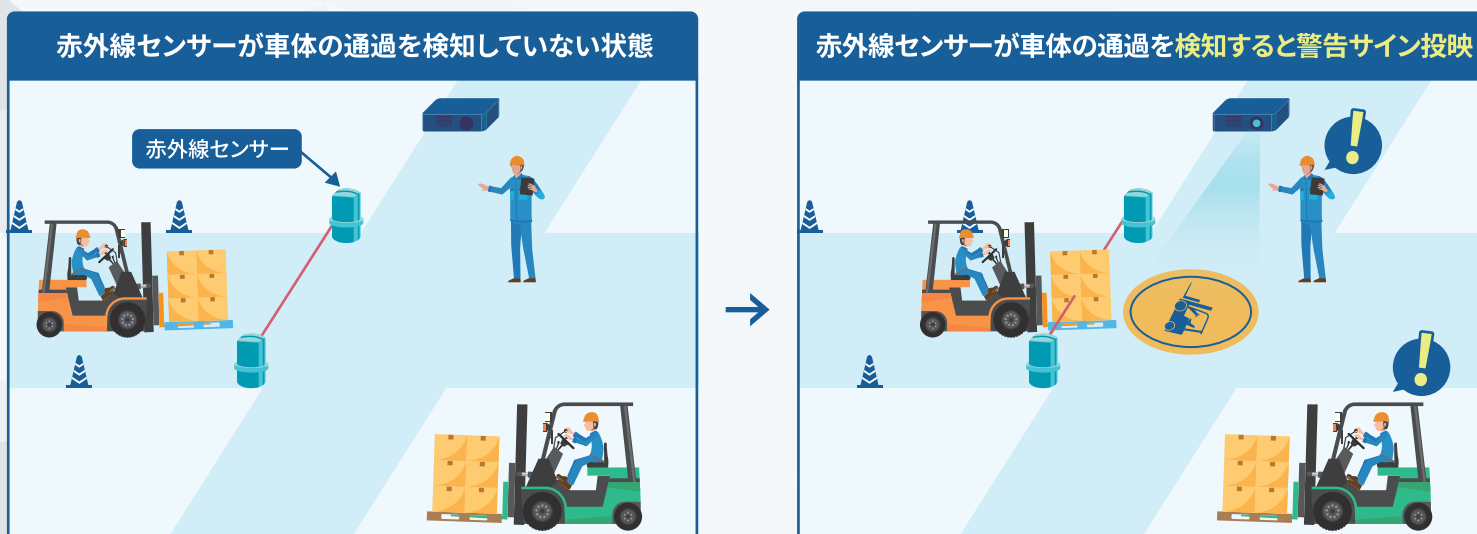
従来の警告サインを
映像に置き換えることで
作業負担や二次災害を抑制



活用例の詳細は次のページへ

工場内の見通しの悪い交差点での接触事故防止

赤外線センサーで車体の通過を検知し、床面に警告サインを一定時投映

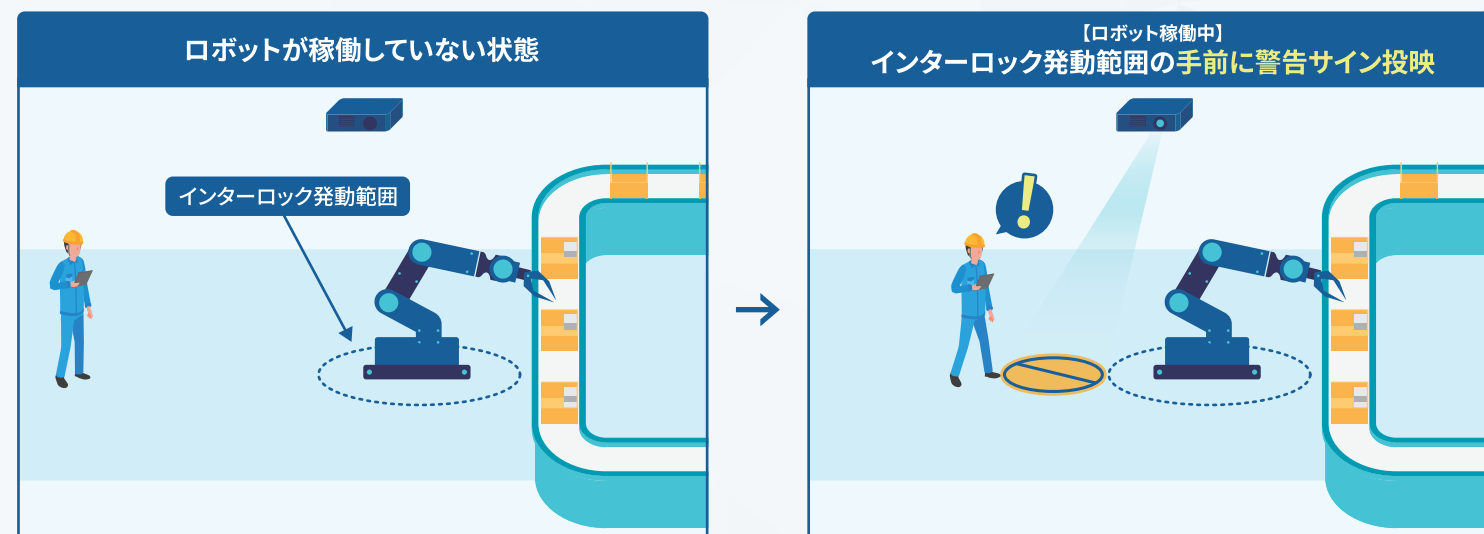


プロジェクションARのメリット

- ✓ 警告サインが必要な時だけ表示されるので、見慣れてしまうことが起きにくい
- ✓ 映像でサイン表示するので、表示内容の変更や多言語に対応しやすい
- ✓ 「運搬車と作業員」だけではなく「運搬車同士」の注意喚起としても活躍

協働ロボット区画での協業支援

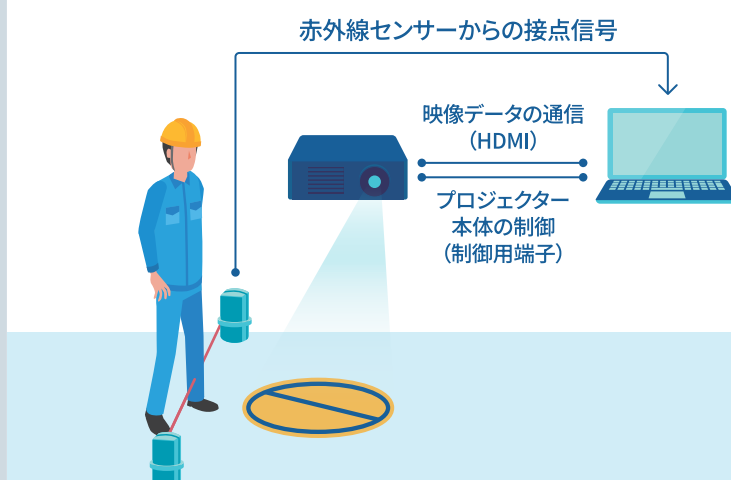
協働ロボットのセーフティスキャナと連動し、ロボット稼働中の非常停止ラインを可視化



プロジェクションARのメリット

- ✓ 協働ロボットのインターロック発動による生産ライン一時停止を防ぐ
- ✓ 警告サインとなるメッセージの差し替えやレイアウト変更など、柔軟な対応が可能
- ✓ アラームと異なり視覚的に訴求できるので、騒音の中での注意喚起に役立つ

Ⅰ センサーと連動した投映の仕組み (赤外線センサーの場合)



センサー検知範囲に運搬車や作業員が近づく、スタンバイしているプロジェクターへホストコンピューターから指定した映像を任意の時間、投映するよう制御します。

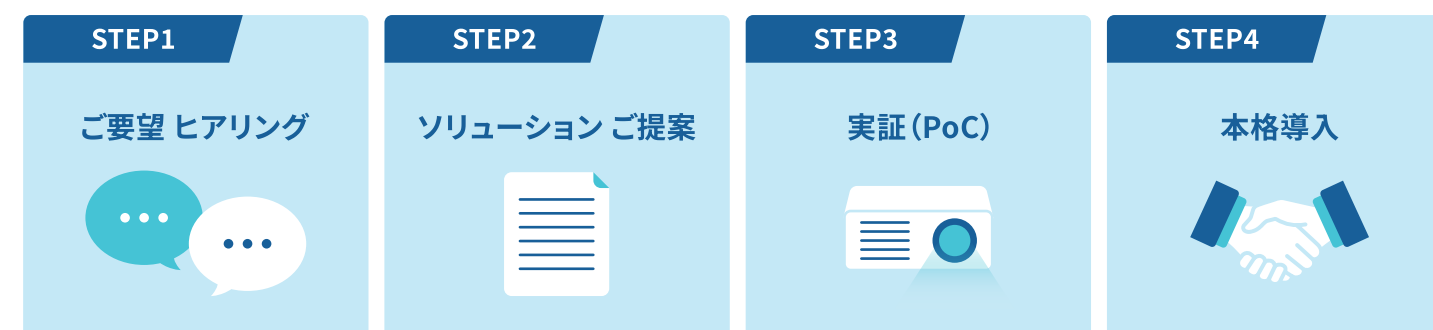
システム構成に必要なアイテム

- 1 プロジェクター (LH-200)
- 2 プロジェクター・PC間の映像通信 (HDMIケーブル)
- 3 PCまたはシングルボードコンピューター
- 4 投映を制御するソフト※
- 5 プロジェクター・PC間の信号通信 (制御用端子)
- 6 任意のセンサー及び関連資材

※投映を制御するソフトに関してはサンプルとなるアプリケーションをご用意しております。

Ⅰ プロジェクションAR 導入の流れ

お客様の現場の課題をヒアリングさせていただき、最適なソリューションをご提案します。実証 (PoC) から本格導入までDX化を伴走し、サポートさせていただきます。



サンプルとなるアプリケーションをご用意しているほか、新規のシステム開発に関してもご相談を承っております。